

「石はなにからできている?」

川崎市立さくら小学校三年

小岩 こいわ 凧紗 なぎさ

わたしがこの本をえらんだ理由は、「石はなにからできている?」
というタイトルが自分思うことと、同じ気持ちで、どんな本なのか読んでみたくなったからです。

はじめに、石のでき方は三通りあって、マグマから生まれた石、
水の流れによって生まれた石、
生きものの生まれの石です。

わたしは、いろんな色や形があるのにたった三通りしかないなんて思いもしませんでした。
この間、家族ではくぶつ館に行きました。
そこには、たくさんのおしゅるいのほう石がならんでいました。

今まではなんとなく、ほう石は石からできていることは、分かっていたけれど、どうやってできたのかは知りませんでした。
石がこんなにきれいなほう石になるなんてびっくりしました。

次にじっさいに近くの公園に行って、石を調べてみました。
公園には、とても大きい石や小さい石、さわつたらざらざらしているものや、つるつるした石、はい色やこい色のものまでさまざまなのを見つけてました。

わたしの住んでいる所は川が近いのでもしかしたらこの公園にある石は川の流れてできた石なのかと考えることができました。

この本を読んでみて、今まで石は、そこらじゅうにたくさんあってあまり考えた事はありませんが、
けれど石一つで、こんなにもわかることやわくわくする気持ちになれることをこの本が教えてくれました。

また山や海へ行った時に、手にとって石にさわりたいです。
そんなおもしろい本をぜひ友達におすすめてあげたいです。